

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

実施日

令和6年 11月 29日 (: ~ :)

メンバー

7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	1人	7人

前回の改善計画

実施計画をもとに、個別のケース検討を毎月のミーティングで順番に行う

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティングで日頃の情報共有はできるが、実施計画を掘り下げて検討することができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5	2		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		7			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	1		7

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

看護師会議で1か月ごとの見直し、計画修正できている。
初期情報の周知については、ミーティングや申し送りノートで詳しく説明。共有ができている。
朝礼で1日の情報、ニーズをスタッフで共有できている。
新規利用時の本人に対する声掛けや配慮はほぼできている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ご家族に対して、会う機会が少ないのでケアマネから聞き取って情報を得ている
情報のみで心の内面への理解は不足している
情報を詳細まで読み込み、どんなサービスが必要か把握していない
担当のおとしよりの聞き取りができていない。今年は実施計画を作成できなかった。
身体介護ばかりにエネルギーが注がれ、本来の本人の思いやニーズが把握できていない
家族のキーマンが定まっていず、情報も少ない場合もあり、手探りでサービスが始まる事もあった
ケースミーティングが日頃の情報、申し送りの時間になってしまっている

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

各スタッフの担当おとしよりの再確認をする
実施計画をたてる
ケースミーティングで実施計画を読み込み、本人のニーズを知る

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月29日	:	~	:	)
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	7名				

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	5人	1人	7人

前回の改善計画	〇〇したいことを1個以上具体的に実施計画に書き込む
前回の改善計画に対する取組み結果	実施計画がスタッフの目につくところにファイルされていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1		6		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		3	4		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		1	6	1	7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		1	5	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
おとしよりの意思や選択を尊重して役割を持ってもらっている 新規利用の方の目標は把握できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の目標をスタッフが共有できていない 従来から利用されている方の目標が共有できていない プランの確認が出来ていないため、おとしよりとの関わりが不十分 本人の思いを引き出すコミュニケーションができていない 思いを他のスタッフと共有できていない 人手不足であり、先輩スタッフが新人スタッフに教えることができていないのでコミュニケーションの取り方がわからない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
実施計画を読み込み、本人と直接コミュニケーションを図り、本人の思いを引き出す技術を身に付ける	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日 (: ~ :)
3. 日常生活の支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5人	1人	1人	7人

前回の改善計画	
日常の気づきを簡単にメモ（付箋）で残す	
前回の改善計画に対する取組み結果	
申し送りノートや、メモをわかりやすいところに貼るなどして情報共有はできているが、本人の思いまでをくみ取り、共有することはできていない	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	2	2	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	6			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		2	5		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	6			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		6	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
半数のスタッフが本人との話の中で以前の暮らしぶりを知り得ている。 基本的な介護はなんとかできている。 現場のスタッフがサポート内容を話合って対応を変化させていくことができる	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
目の前のお年寄りの姿にとらわれ、これまでの生活歴や、ご自宅での過ごし方まで思いを馳せることができていない おとしよりと会話はするが、以前の話題とはならない（意識してコミュニケーションがとれていない） 身体介護以外の部分（本人の思いや不安、悩み）の把握やサポートができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自己評価の項目を普段からスタッフに意識をしてもらう	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	4人	1人	6人

前回の改善計画	全体ミーティングで地域資源（散歩の方々、バス停、心の支え、お地藏様など）についての意見交換をする。事前に議題をアナウンスする。
前回の改善計画に対する取組み結果	散歩の方々やお地藏様にお参りに来られるの方々へのご挨拶などスタッフが意識することはできているが、ミーティングで話をすることはできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3	4		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	3		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		2	2	3	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	3	3	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ボランティアの方に毎月来ていただき、交流ができている。 おとしよりの近所の方が声をかけてくださる。普段から気にかけてくださっている。 スタッフが送迎、訪問時にご家族とやり取りをして、現場の支援につながっている。 民生委員や運営推進委員の方が樹林の行事のお手伝いに来てくださることができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 樹林を利用されている時のおとしよりの姿しか把握できていない。近所との関係についてはわからない。 民生委員や地域の資源をほとんど知らない。 人手不足のため、樹林から散歩に出かけたり、地域のイベントに参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 人手がないという理由でできないことばかりではない。事業所内からの交流（窓から小学生に挨拶をする、訪問してくださるボランティアさんとコミュニケーションをとるなど） 樹林の地域としての役割（地域の方の介護の相談など樹林に入りやすい雰囲気づくりを行う）
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	人	3人	6人

前回の改善計画	全体ミーティングで、スタッフの多機能性について意見交換する
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ自身が多機能性を持って働く事の意味を理解できるようになっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5	2		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	5			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	6			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
スタッフがその時の状況に合わせて、判断し対応できている。 本人の日常生活を理解しているスタッフが多い。 本人や近所の力を信じ、本人の生活を尊重し見守ることができている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護事業だけではない役割を理解し、発信することができていない（地域の避難所になる事や、太陽光パネルを屋根に設置し、環境に役立っていることなど） 保育所や巡回バスなど事業所の外でつながっていることを意識した生活をする事ができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所の外は地域であることを意識すること 地域に貢献、役割を持つことの自覚 事業所内、スタッフ自身の多機能性は備わってきている、次は地域と繋がっている多機能性を理解する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
6. 連携・協働	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	1人	人	4人

前回の改善計画	避難訓練（水消火器）に38組の方に案内する
前回の改善計画に対する取組み結果	案内はできたが、参加者はおられなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	2		5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	3		4
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	3		4
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	4		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他事業者や市との会議は計画作成者や主任が行っている。スタッフにも動きがわかるように予定表に記入している。 登録者以外の方が地蔵盆に参加して下さった。民生委員やご家族などが事業所に訪問され、にぎやかに過ごされている。訪問された方が中に入ってこられやすいような雰囲気作り、スタッフの元気な挨拶で出迎える等できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人手不足のために地域行事（草引き）に参加できなくなっているため、組の方との交流する機会が無い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
38組の方と顔なじみになれるよう、意識する。 窓を開けて、登下校の小学生や散歩の保育園児にみんなで挨拶する。 地蔵盆、やきいもなどの行事を継続し、スタッフが地域とのつながりを意識していけるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
7. 運営	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	1人	2人	4人

前回の改善計画	スタッフ間のコミュニケーションの改善（少人数でのスタッフ懇談会 年4回）を実施する
前回の改善計画に対する取組み結果	日常業務の中で細やかな報連相が行われている。懇談会はできていない。また個別面談も今年はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		2	3	1	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5	1		6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		2	3	1	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		1	2	3	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の業務の中で各スタッフが状況に応じて、チーム内で意見を出し合い、相談・判断している。苦情を受けたらすぐに共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人手不足で個々が疲弊している。事業所の運営について意見が言いにくくなっているかもしれない。苦情に対する共有ができていても、反映できていないことがある。（持ち物の紛失の苦情が多い、持ち物の管理が不十分なため）ご家族からの過剰な要求があり、こまやかに対応しきれないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
業務内容の改善、業務を効率化させて、余った時間をお年寄りとの時間に利用できるようにする 業務改善についてスタッフで洗い出し、検討、改善実施ができるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6	人	人	7

前回の改善計画	事故・ヒヤリハットの報告をケースミーティングで報告する
前回の改善計画に対する取組み結果	報告できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5			7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	1	5	7
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	3	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
一部の職員は資格取得に熱心に取り組んでおり、管理者は研修等情報の開示、受講料の補助をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の家庭事情により、研修等積極的に参加できていない(自分のスキルアップへの気持ちが今は持てない) 時間的な理由で研修を受ける機会がなくなっている ヒヤリハットの報告が少ない 時間がないため、事故の振り返り、意見交換ができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハットを挙げる、検討する 事故の振り返り、再発防止 リスクマネジメントの繰り返しの周知 研修に参加するスタッフとしないスタッフの差がある	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 29日
9. 人権・プライバシー	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	人	人	人

前回の改善計画	
個人情報の取り扱い注意を再度徹底する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
個人情報や虐待について職員それぞれが意識をしているが、詳細まで理解できていない	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	1			
②	虐待は行われていない	6	1			
③	プライバシーが守られている	3	3	1		
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2			3	
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	3	1	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報の記載のあるものを持ち帰らない。シュレッダーを使用している。 身体拘束（ベット柵や足元センサーの設置）はご家族ご本人に必要性を説明した上での同意書をいただく。 個人情報はお年寄りに聞かれても答えない。 情報共有は個人名が特定できないように工夫しながら業務している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現場でスタッフとの情報共有時に周りへの配慮が欠ける時がある（スタッフとおとしよりの過ごすスペースが同じな為、見守りをしながらスタッフ間で離すため） スピーチロック「待ってください」「あとでします」など声をかけるが、スタッフ不足のためにすぐに対応できないことがある。 言葉使いが適切でない場合がある。スタッフ間で気が付いていても指摘ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
おとしよりがおられるフロアでのスタッフ間の連絡や相談内容は、個人名が特定できないようにする。 また、別室で話をする。 成年後見制度は勉強不足であまりわからない。勉強会が必要。	

